



衛藤内閣府特命担当大臣(沖縄及び 北方対策)の北方領土視察について

10月2日、**衛藤 晟一**内閣府特命担当大臣が根室地域を訪問しましたので、その概要をお知らせします。

1 北方領土の視察

- ・ 納沙布岬から北方領土を視察しました。
- ・ 当日は曇り空でしたが、納沙布岬からは歯舞群島の貝殻島や水晶島の島影を見ることが出来ました。
- ・ 大臣は領土問題を「**一刻も早く解決しなければならぬ**」との強い思いを述べておりました。



納沙布岬からの視察

2 地元関係者等との懇談

- ・ 大臣は北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)の視察後、北海道や根室管内1市4町の首長、関係団体の方々からの要望書を受け取、それぞれの要望に耳を傾けておりました。
- ・ 大臣は、「**今は、日本とロシアが仲良くできる時代。担当大臣として、その基盤を作りたい**」と述べたほか、墓参や自由訪問などのスムーズな実施に、必要があれば大臣自らロシアへ訪問したいとの意向も示されました。



ニ・ホ・ロでの懇談

3 元島民等との懇談

- ・ 根室地域訪問後は、新千歳空港において、(公社)千島歯舞諸島居住者連盟の理事長ら幹部との懇談を行いました。
- ・ 理事長は、墓参と自由訪問について、両事業の性格を併せ持つ事業への再編などを求めました。
- ・ 大臣は、記者団に「**(ロシア側と)相当強く交渉していかなければならぬ**」との覚悟を述べられました。



理事長との懇談